

一 般 質 問 通 告 書

令和4年 11月 24日

前
午 10時 15分 受付
後

下記のとおり質問いたしますから通告いたします。

令和4年 11月 24日

湖西市議会議長 馬場 衛 様



湖西市議会議員 土屋 和幸

(署名又は記名押印)

質問方式 (○を付ける)		<input checked="" type="radio"/> 一問一答 <input type="radio"/> 一括の質問答弁
番号	主 題	
1	高齢者世帯、障害者等の世帯の今と将来について	
2		
3		
4		
5		

※ 質問の要旨は別紙参照

番号	主 題
1	高齢者世帯、障害者等の世帯の今と将来について
質 問 の 要 旨	
<p>(質問しようとする背景や経緯)</p> <p>少子高齢化、核家族化が進む現代社会において、わたしたちの周りだけでなく日本の何処にでもある風景として一人暮らしの世帯、高齢者だけの世帯が存在します。こうした状況が湖西市でも例外なく大変多く見られます。</p> <p>このままではいずれこの湖西市でも行き場のない人が大勢でます。自分のことが出来なくなれば施設に入所すればいいと誰もが今考えていると思いますが、いずれは入所施設が不足していくのが目にみえています。</p> <p>また、障害のある子にとって一番身近な支えは、親です。親が元気なうちは生活を支えることができますが、親がいなくなってしまった後はどうなるのでしょうか。誰がどのようにわが子の生活を支えてくれるのか、将来に不安を持っていると思われまます。</p> <p>余りふれたくはない話題ではありますが、この対策を今から進めていかなければならないと思ひ質問いたします。</p> <p>(質問の目的)</p> <p>これからの湖西市ならではの高齢化対策等に期待することからお伺いいたします。</p> <p>(質問事項)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 湖西市における高齢者（65歳以上）の一人暮らし世帯数は。 2. 今後の湖西市における高齢者施設数の見通しは需要に対してどうですか。もし、不足の可能性があるのであればその対策は。 3. 親亡き後の障害者の生活について、将来お金に困らないか、親がお金を残してくれてもそのお金の管理はどのように行うのか、親亡き後どこに住むのか、将来、誰がサポートしてくれるのか等の心配があるが、対策はありますか。 	

※ 質問の要旨は具体的に記入すること

一 般 質 問 通 告 書

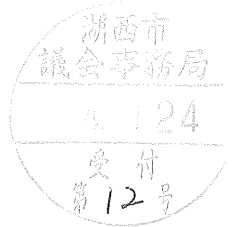
令和 4 年 11 月 24 日


前
午 10 時 17 分 受付
後

下記のとおり質問いたしますから通告いたします。

令和 4 年 11 月 24 日

湖西市議会議長 馬場 衛 様



湖西市議会議員 佐原佳美 

(署名又は記名押印)

質問方式 (○を付ける)	<input checked="" type="radio"/> 一問一答 <input type="radio"/> 一括の質問答弁
番号	主 題
1	政府の新規事業「妊娠期から出産・子育てまでの伴走型相談支援と経済的支援」の湖西市版制度設計（体制整備）について
2	
3	
4	
5	

※ 質問の要旨は別紙参照

番号	主 題
1	政府の新規事業「妊娠期から出産・子育てまでの伴走型相談支援と経済的支援」の湖西市版制度設計（体制整備）について
質 問 の 要 旨	
<p data-bbox="177 533 676 571">（質問しようとする背景や経緯）</p> <p data-bbox="161 589 1426 786">本年 11 月 8 日「令和 4 年度 第 1 回湖西市子ども・子育て会議」を傍聴しました。湖西市子ども・子育て支援事業計画の実施状況を「必須項目調査表」から担当課が説明され、自己評価 C の「養育支援訪問事業」、E：未実施の「病児保育事業」「ショートステイ事業」の改善が課題と分かりました。</p> <p data-bbox="161 801 1410 947">会議の最後に、有識者である委員長より「産前からの子育て」の重要性についてお話があり、市の取組みを聞かれていました。名古屋市ではそれを議会が国に要望していくとも言われていました。</p> <p data-bbox="161 963 1426 1480">「産前からの子育て」については、本年、議会活動推進特別委員会でオンライン視察をした岐阜県可児市の PR 動画の中に「マイナス 10 カ月からの子育て支援」というキャッチコピーがあり衝撃を受けました。『マイナス 10 カ月からつなぐ まなぶ かかわる 子育て』『子育ては子どもがお腹に宿ったときから始まることを重点に置き、子どもと子育て家庭が地域・社会とつながり、みんなで子育てに関わっていく取組を推進する』（広報かに 2014 年 7 月号）というものです。また、昨年から一緒に子育て支援活動をしている助産師さん達からも、妊婦さんが出産や産後の子育てへの危機感が薄い方が多く、妊婦さんと家族への教育が喫緊の課題と聴いていたので「妊娠期からの行政支援」の必要性を再確認しました。</p> <p data-bbox="161 1496 1426 1641">時を同じくして 11 月 9 日厚労省子ども家庭局より各都道府県指定都市等に向けて「妊婦・子育て家庭への伴走型相談支援と経済的支援の一体的実施（出産・子育て応援交付金）について」の事務連絡が発出されました。</p> <p data-bbox="161 1657 1410 2011">それは、10 月 28 日閣議決定された「物価高克服・経済再生実現のための総合経済対策」において「支援が手薄な 0 歳から 2 歳に焦点をあてて、妊娠時から出産・子育てまで一貫した伴走型相談支援の充実を図るとともに、地方自治体の創意工夫により、妊娠・出産時の関連用品の購入費助成や産前・産後ケア・一時預かり・家事支援サービス等の利用負担軽減を図る経済的支援を一体として実施する事業を創設し、継続的に実施する」ことが盛り込まれたので、自治体における各種準備を進めて頂きたい旨の連絡で、補正予算が成立すれば、今</p>	

年度中に実施予定。その交付金申請時には、各市町の伴走型相談支援・経済的支援の実施計画の添付が必要との事です。当事者や支援者の希望をその計画に反映して頂きたいため、声を届けます。

(質問の目的)

誰もが安心して子どもを産み育て、適切な教育が受けられる湖西市の実現の為、妊娠期からの伴走型子育て相談支援拠点を身近なところに整備し、経済的支援と一体的、恒久的に実施して欲しい。

(質問事項)

2019年に約86万人だった全国の出生数は、コロナ禍により2021年に約81万人、2022年は初めて80万人を下回る可能性があり、日本の少子化は想定より7年早く進んでいるとの事です。

待った無しで進めなければならない前述の支援実施計画をどのような創意工夫で作成しようとお考えか伺います。

1. 妊婦からの伴走型子育て相談支援体制について

①厚労省の伴走型相談支援イメージでは、妊娠届け出時(母子手帳交付時)、妊娠8ヶ月時、出生届出時の妊産婦や夫との3回の面談と従来実施の生後1～2カ月時の全戸赤ちゃん訪問が示されているが、訪問やオンラインで面談する保健師や助産師の人材確保は如何か。(子ども・子育て会議の必須項目調査表「乳児家庭全戸訪問事業」の自己評価はB:概ね計画通り実施)

②出産までの見通しを立てたり、各種手続きを一緒に確認する際に基とする「子育てガイド」が必要だが作成されているか。

③昨年、私と市内の助産師グループが市内保育園、こども園等で産前産後ケアアンケートを実施した中で、「妊娠中に頼みたかったこと」の1位63%、「産後頼みたかったこと」の2位47%が家事・育児支援:「産前産後ヘルパー(育児サポーター)」派遣でした。出産・子育て応援交付金の活用事例にも挙げられている事業だが、開始しては如何か。(多胎児の妊産婦や家族には必須)

④家事・育児支援の産前産後ヘルパー（育児サポーター）は、妊産婦や家族の相談相手にもなるので、育児や家事に加え心理的な幅広いサポートができる人材が望ましい。その「産前産後ヘルパー」を市民から養成しては如何か。

⑤伴走型相談支援の拠点は「子育て世代包括支援センター」が想定されているが、厚労省は「身近で相談に応じ必要な支援につなぐ」と謳っている。現在、市内の子育て支援センターは1カ所のみ。希望する保育園、こども園等に助産師等を定期的に派遣して、相談支援事業を委託しては如何か。

2. 経済的支援体制について

①政府は、「出産・子育て応援交付金」を妊娠届出時5万円相当、出生届出時5万円相当の経済的支援を今年度中に実施（実施前、令和4年4月以降の出産者には10万円相当）と公表しているが、支給方法はクーポン券か。
また、支給時期はいつ頃か。

②交付金の活用メニューは。

産前産後ケアや妊婦健診タクシー代、産前産後の家事育児支援ヘルパー費等を盛り込んで頂きたいが如何か。

③その他、この事業で予定していることは。

※ 質問の要旨は具体的に記入すること

一 般 質 問 通 告 書

令和4年11月24日

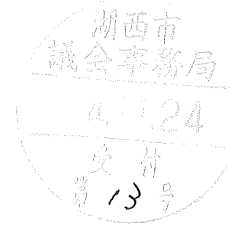
前
午 11時20分 受付
後

下記のとおり質問いたしますから通告いたします。

令和4年11月24日

湖西市議会議長 馬場 衛 様

湖西市議会議員 三上 元



質問方式 (○を付ける)	一問一答 一括の質問答弁
番号	主 題
1	給食センター計画中の視点について
2	子育て支援策の強化について
3	
4	
5	

※ 質問の要旨は別紙参照

番号	主 題
1	給食センター計画の視点について
質 問 の 要 旨	
<p>(質問しようとする背景や経緯)</p> <p>学校給食を給食センター方式にする計画について、11月7日に総務経済委員会を傍聴し、じっくり聞くことができ、さらなる吟味の必要を感じた。</p> <p>(質問の目的)</p> <p>投資額は約60億円というので、当市にとっては大きなプロジェクトだ。その視点について問う。</p> <p>(質問事項)</p> <p>1. この給食センターは、稼働時間が少ない事が欠点なので、それを補う何かを考える視点について問う。</p> <p>毎日の午後、土日祝日、学校の春夏冬の休み期間中の活用でコストダウンする策がある気がする。</p> <p>PFIの手法を使った学校給食センターの運営に「付帯事業」として学校給食の提供以外の業務を求める考えはあるか。</p> <p>2. 子供には無農薬や低農薬の野菜、できれば地物の野菜や魚を提供したい。そんな活動も日本各地で始まっている。給食センター稼働後にどんな食事を提供する計画なのか伺う。</p>	

※ 質問の要旨は具体的に記入すること

番号	主 題
2	子育て支援策の強化について
質 問 の 要 旨	
<p>(質問しようとする背景や経緯)</p> <p>9月の一般質問で「子育て政策の重要性と学校給食の無償提供が時流になりつつあること」は当局と私の認識が同じであることが解かった。しかしその進めるスピードでは考え方の違いがあることも解かった。おりしも、10月16日の中日新聞社説、10月31日の日経ビジネス紙、11月2日の日経新聞が一面トップで、少子化・子ども政策を大きく報じている。</p> <p>そして岸田総理が、この10月「子ども政策予算を二倍にする道筋を作る」と表明した。この子育て支援は私が30年間持ち続けている関心事なので再度、取り上げた。</p> <p>(質問の目的)</p> <p>子ども政策において、国の政策を待たず、あちこちの自治体が対策を打ち出している。企業も自社の社員が子供を育てやすくする策を講じ始めている。</p> <p>そこで、当局がこの問題で、スピードアップしてくれることを期待して質問する。</p> <p>(質問事項)</p> <p>1. 明石市から学んで欲しい。</p> <p>この数年、若者が転入したい都市、戻りたい街として兵庫県では明石市が注目されている</p> <p>① 2012年から人口が連続して毎年増加している。</p> <p>② 2015年からは出生数が死亡数を下回っているが、転入者が多いので、やはり人口増加が続いている。</p> <p>明石市のHPには「独自の五つの無料化」として子ども医療費、第2子以降の保育料、おむつ定期便、中学校の給食、子どもの公共施設の入</p>	

場料の無料化などを行い、「子育てするなら、やっぱり明石市」と自信満々である。

明石市の財政力指数は0.78であり、当市よりも低い。当市もやる気になればやれると思う。

9月定例会で学校の再編や校舎の修繕、給食センター運用開始に向けての準備、給食の在り方など優先順位をつけてやっていきたいとの答弁だったが、その中で学校給食の無料化を段階的に、例えば中学3年生だけを先ず先行実施する、というように少しでも早く着手する考えはないかを伺う。

2. 奈義町に学んで欲しい。

岡山県の北部、内陸に位置する人口5,700人の町。2014年に子育て支援宣言を出し、2022年には日本子育て支援協会から、大賞を受賞した。

ビックリする数値は出生率（合計特殊）であり、2005年は1.14、2016年は1.85、2022年には2.95になり「奇跡の町」と呼ばれるまでに急改善した。

まだ人口はわずかに減少しているが、2022年度は前年比19人のマイナス、その前年は43人のマイナスなので人口は下げ止まりそうである。

人口問題研究所の2010年の人口予測では、2020年に5,578人へと減少するはずだったが、実際には5,787人で200人も人口予測を上回る成果となった。

様々な策を講じているが、代表例は出産祝金で一律10万円支給している。

そして、町内に高校がないので学費・通学費支援として、年13万5千円を高校生に出している。

奈義町のその町らしいきめ細かな子育て支援策にヒントを得て、出生率向上になる何か、新たな策をとる考えはないのかを伺う。

3. 民間企業に学んで欲しい。

少子化対策で国に対しては効果を上げた外国に学んで欲しいが、ここでは民間企業の例を紹介したい。

ソフトバンクの出産祝金、第三子に100万円、第五子に500万円もビ

ックリであるが、ここでは伊藤忠商事の例を紹介したい。

伊藤忠は五大商社の一角であり、2018年6月22日に、日経新聞に見開き両面に全面広告を出し、「がんになっても、私の居場所はここだ」の見出しで「社員は家族だ」として、「医療費も子供の将来も心配するな」と宣言するなど、社員を大切にしている会社としても有名である。

給料も高いが仕事もハードな商社であり、2010年までは伊藤忠社員の出生率（合計特殊）は0.94以下であった。そこで社内託児所を設置し、朝型勤務を導入することで2021年の出生率は1.97に急改善したという。

朝型勤務の導入後、出産後の女性は、ほぼ全員が復職するまでになった。

尚、伊藤忠の社外重役には、元厚生労働省の村木厚子氏が就任している。

これは湖西市役所でも導入できると思うし、働き方改革に積極的な職場がPRできれば若い世代に興味を持ってもらうことができ、人材確保にもつながるのではないだろうか。

湖西市でも朝型勤務を実験実施する考えはないかなど、子育て支援の視点からの湖西市役所の働き方改革への取組と今後の方針について伺う。

※ 質問の要旨は具体的に記入すること

一 般 質 問 通 告 書

令和4年11月24日

前
午11時25分 受付
後

下記のとおり質問いたしますから通告いたします。

令和4年11月24日



湖西市議会議長 馬場 衛 様

湖西市議会議員 福永 桂子
(署名又は記名押印)

質問方式 (○を付ける)	一問一答 <input checked="" type="radio"/> 一括の質問答弁
番号	主 題
1	これからの小中学校の規模及び配置について
2	
3	
4	
5	

※ 質問の要旨は別紙参照

番号	主 題
1	これからの小中学校の規模及び配置について
質 問 の 要 旨	
<p>(質問しようとする背景や経緯)</p> <p>湖西市立知波田小学校が統廃合されるという話が持ち上がっています。</p> <p>地域から小学校が無くなるということは、その地域にとっては核となる施設が無くなり、荒廃した地域になってしまいます。</p> <p>現在湖西市では、国の地方創生という「東京一極集中の解消」と「人口減少に歯止めをかける」という方針のもと、「職住近接」を掲げて将来の人口減少に歯止めをかけ、湖西市の活性化に取り組んでいます。少子高齢化が進み、将来の働き手となる子どもの数も減少しており、現役の働き手が高齢者等を支える仕組みが崩壊しつつあるなか、湖西市としても持続できるまちづくりが求められています。</p> <p>子供の減少に伴い、私の住んでいる知波田地域においてはクラスの人数が確保されず、小中一貫校の設置も視野に入れ、廃校の検討がなされています。</p> <p>最近、教育改革のもと、コスト削減と公教育の序列的再編のために全国的にも学校統廃合が多用されるようになっていますが、ここで明記しておくべきことは、学校の「適正規模」・「標準規模」の解釈です。</p> <p>「学校教育法施行規則」第41条は、「小学校の学級数は、12学級以上18学級以下を標準とする。ただし、地域の実態その他により特別の事情のあるときは、この限りでない。」とされています。</p> <p>地域に学校が無いということはその地域に子供がいない、もしくは殆ど存在しない。子供がいないという事は将来地域を担う人材がいなくなり世代交代という新陳代謝が起こらない為、地域はすたれていくことになるでしょう。</p> <p>湖西市では、鷺津や新所原、新居とJR駅周辺の中心市街地構想で活性化を図ることを計画していますが、中心市街地以外の地域は置いてきぼりになっている印象がぬぐえません。</p>	

(質問の目的)

本来の北部地域の子供たちの教育をどう考え、その結果のこれからの小中学校についての具体的な案を示されたのか。

また、地域のシンボルである小学校がなくなることによる、地域コミュニティのこれからのどう考えるのかお聞きします。

(質問事項)

1. 知波田小学校が小中一貫校になるという計画はおありでしょうか。
2. 湖西市の考える小中一貫校構想とはどのようなものでしょうか。
3. 湖西市が小中一貫校を設置する場合、国などの支援は受けられるのでしょうか。
4. 湖西市の学校の「標準規模」や「適正規模」とはどのように考えるべきかお聞きします。
5. 小中一貫校構想は、補助金目当てになっていませんか。
6. 学校統廃合問題はまちづくりの問題でもありますが、どのようにお考えですか。
7. コミュニティスクールで地域と学校とが連携した教育の更なる充実を図れないでしょうか。
8. 今後の知波田小学校の対応については慎重な検討と十分な住民説明が必要ですが、如何でしょうか。

※ 質問の要旨は具体的に記入すること

一 般 質 問 通 告 書

令和 4 年 11 月 24 日

前
午 11 時 58 分 受付
後

下記のとおり質問いたしますから通告いたします。

令和 4 年 11 月 24 日



湖西市議会議長 馬場 衛 様

湖西市議会議員 吉田 建二
(署名又は記名押印)

質問方式 (○を付ける)	<input checked="" type="radio"/> 一問一答 ・ <input type="radio"/> 一括の質問答弁
番号	主 題
1	大気保全体制の強化に向けて
2	湖西市駅伝大会の再開に向けて

※ 質問の要旨は別紙参照

番号	主 題
1	大気保全体制の強化に向けて
質 問 の 要 旨	
<p>(質問しようとする背景や経緯)</p> <p>当市の一般廃棄物の焼却処理施設はこれまで休止していたが、ごみの安定処理や経済性を考慮して1年半後の令和6年2月の再稼働を目指し、現在は施設の改修工事の最中である。</p> <p>また、産業廃棄物の処理については、隣接する豊橋市原町に、1日120トンの大型焼却処理施設が民間企業によって稼働されている。</p> <p>このような状況から、大気の汚染を心配する市民の声は少なくない。大気の保全監視体制を強化し、市民の不安解消に努めなければならない。</p> <p>(質問の目的)</p> <p>市民の不安解消を図るため、大気保全体制の強化につなげていきたい。</p> <p>(質問事項)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 再稼働に向けての準備業務は、施設の改修工事などを含めどの程度進んでいるのか。現在の進捗状況をお伺いします。 2. 施設の稼働は予定通りに開始できるのか。また、現在から稼働開始までの業務スケジュールの概要についてお伺いします。 3. 稼働開始までに、地元（近隣）住民に対して、市はどのようなことを行なっていこうとしているのか。 又、一般市民に対しては、どのようなことを行なっていこうとしているのかをお伺いします。 4. 隣接する豊橋市の県境付近には産業廃棄物焼却処理施設が操業しており、これによる市民の不安を解消するために、静岡県が大気測定を実施しているが、その成果をどのように捉えているかをお伺いします。 	

5. 現在、大気の監視測定調査は年4回実施するという方針であるが、今後、この測定回数を減らすことなどはあってはならないと考えるが、市の認識はいかがかお伺いします。

6. 住民から、焼却処理施設から排出される煙の色や量、又は臭いなど、不安を抱く情報や問い合わせがあった場合、市ではどのように対処していくのかをお伺いします。

7. 県境には関係なく、焼却処理施設の周辺一帯の住民の健康を守り、安心した生活を保持するために、静岡県と豊橋市、湖西市の3者による協議会的な組織を立ち上げたらと考えるがいかがかお伺いします。

番号	主 題
2	湖西市駅伝大会の再開に向けて
質 問 の 要 旨	
<p>(質問しようとする背景や経緯)</p> <p>湖西市では、その年の最初のスポーツ行事として、毎年1月に湖西市駅伝大会を開催し、新春を飾る体育イベントとして定着していた。</p> <p>しかし、コロナウイルスの感染症拡大により、各種の行事を自粛する情勢となり、令和3年1月は開催が見送られた。</p> <p>そして 令和4年1月は市制施行50周年となることから、50周年記念事業として、リレーマラソンが開催された。</p> <p>今年度の年明けとなる令和5年の1月は、従前の駅伝大会の開催を期待していたが、リレーマラソンが開催されるということです。</p> <p>そこで、これまで開催してきた駅伝大会における多くの成果を再認識して駅伝大会を再開し、市民のスポーツ意識の高揚を図っていきたい。</p> <p>(質問の目的)</p> <p>質問を通して駅伝大会の成果を深く認識し、大会の再開につなげていきたい。</p> <p>(質問事項)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 駅伝大会がスタートした時の、大会の目的、開催に至るまでの経緯の概要、第1回目の大会の開催年月日、参加チーム数や大方のコース、優勝チーム名など、駅伝大会の原点となる事柄や状況について、記録に残っている範囲で説明頂きたいとお尋ねします。 2. 毎年開催して回数を重ねていく中で、参加チームの種別や参加チーム数、又、コースの設定や中継点の個所数は、どのように変わってきたのかを伺います。又、大会の運営内容や進行方法、その他について、改善変更などあったのか、併せてお尋ねします。 3. 駅伝大会は、毎年開催されてきたと理解しているが、開催を休止した時があるとするれば、それは何時で、どのような事情があったのか、お尋ねします。 	

4. 令和2年1月に第56回目が開催されています。そこで主催者として、半世紀以上継続して開催してきた実績と成果を、どのように捉えておられるか、お尋ねします。
5. 市制50周年記念としてリレーマラソンを開催した意図は何か。又、開催を決定するにはどのような手順で進めてこられたのか。その経過について、お尋ねします。
6. 従前の市内を一周する形態の駅伝大会を開催することは、その成果が大きいと言えます。このようなことから、来年度以降からは駅伝大会を開催していただけると確信したいですがいかがか、お尋ねします。